



## 事業実績書

事業名		障害を抱える子ども達の将来の仕事づくり「折り畳み式ゴミかご」の制作								
場所		沼津市西間門 590-2								
期間		2022年4月1日 ~ 2023年3月31日								
	日程	実施項目・作業項目								
事業 内 容	4月 ～5月	<p>※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など)</p> <p>●検討会の実施 参加者：団体メンバーと支援者 内 容：製作するゴミかごの大きさ、重さ、折り畳み構造、部材（枠、ネット・ロープ・補修糸、銘板、留め具等）、作業内容・手順・治具等について検討を重ね、最終的に次の仕様に決定しました。</p> <table border="1" data-bbox="555 801 1264 963"> <tr> <td>枠</td> <td>耐光性塗料で保護した塩ビ管</td> </tr> <tr> <td>ネット</td> <td>網目 19 mm、グレー色の国産有結ネット</td> </tr> <tr> <td>留め具</td> <td>ネットと同質のロープ（金属不使用）</td> </tr> <tr> <td>銘板</td> <td>耐水フィルム</td> </tr> </table>	枠	耐光性塗料で保護した塩ビ管	ネット	網目 19 mm、グレー色の国産有結ネット	留め具	ネットと同質のロープ（金属不使用）	銘板	耐水フィルム
	枠	耐光性塗料で保護した塩ビ管								
	ネット	網目 19 mm、グレー色の国産有結ネット								
留め具	ネットと同質のロープ（金属不使用）									
銘板	耐水フィルム									
5月 ～6月	<p>●演習用枠の製作 ネット張りの技術を得得するための演習用の枠を製作しました。 (塩ビ管とジョイントを利用)</p> 									
	<p>●ネット張り演習 演習用枠を用い、ネット張りの技術※を団体メンバー5名が習得しました。 (ゴルフや野球などの練習に用いられる防球ネットを補修するのと同様の技術)</p> 									
	<p>●銘板のデザインと製作 ゴミかごに取り付ける銘板をデザイン・製作しました。 屋外での耐久性テストを実施し、問題のないことを確認しました。 (ハドメは金属不使用に見直し)</p>									



6月  
～9月

● 枠の設計と製造

当初はアルミとステンレスで設計・製造を実施。材料確保の難しさ、材料費の高騰、加工のしにくさなどの課題から、塩ビ管で枠を製作することに方向転換し、支援者・支援企業の協力をいただきながら、塩ビ管の枠を設計・製造しました。



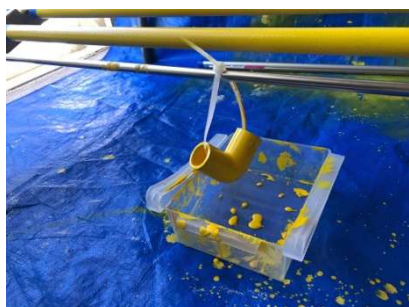
(曲げの作業の際には、アルミパイプの潰れやアールの調整が難しく、全行程を担えるように試行錯誤しながらシンプルな作業工程に変更)



① 部材カット



② 枠の組み立て



③ 塗装と仕上げ剤でコーティング

●ネット張り作業

完成した枠に、丈夫なネットを張っていきます。

作業の説明は写真や動画を使用し、手技を習得しています。

※結束バンドを用いて枠にネットを仮留めすることで、治具は不要となりました。



(網針を使用して1マスごと固定しています)

9月～  
10月

●ゴミかごの製作

大・中それぞれ5個のゴミかご製作しました。

大：幅 190cm・高さ 83cm・奥行き 80cm

中：幅 170cm・高さ 83cm・奥行き 60cm



●「まちづくりファンド事業の紹介チラシ」の作成と印刷 ※添付資料①

製作に至る背景や目的、仕様、スケジュール等を紹介するチラシを作りました。

(A4両面カラー 300枚)

●ゴミかご試用のお願い

自治会連合会・連合自治会の定例会を訪問。

「まちづくりファンド事業の紹介チラシ」を286自治会にお渡し、10個のゴミかごの試用をお願いしました。



<p>11月 ～1月</p>	<p>●ゴミかごの設置 10自治会より試用のお申し出をいただき、9箇所に設置しました。 (1自治会はその後に辞退)</p> <p>①駿河台自治会 (中サイズ) ②米山町自治会 (大サイズ) ③五月町自治会 (中サイズ) ④久保町自治会 (大サイズ) ⑤大塚新田自治会 (中サイズ) ⑥西町二区自治会 (中サイズ) ⑦柳沢自治会 (大サイズ) ⑧東原自治会 (中サイズ) ⑨西間門自治会 (大サイズ)</p> <p>●11月29日の沼津朝日新聞朝刊、12月7日の静岡新聞夕刊にて、本事業について記事を掲載していただきました。</p> <div data-bbox="438 768 842 1070"></div> <div data-bbox="863 768 1267 1070"></div> <div data-bbox="438 1084 842 1386"></div> <div data-bbox="863 1084 1267 1386"></div>
<p>1月～ 2月</p>	<p>●試用くださった自治会より、耐久性や使い勝手などについてのご意見をいただきました。(試用後の返却は求めず、そのままお使いいただいています)</p> <p>【ヒアリング内容】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・蓋が内側に落ちてしまうので改善してほしい (大サイズ)</li><li>・蓋を前方に折りたためると便利</li><li>・躯体のぐらつきが気になる (大サイズ)</li><li>・とても重宝している</li><li>・購入を考えている</li></ul>
<p>2月～ 3月</p>	<p>●検討会の実施 参加者：団体メンバーと支援者 内容：試用結果を踏まえて、次年度より製作する製品版ゴミかごの仕様を決定。 基本は「中：幅170cm・高さ83cm・奥行き60cm」のみとし、それ以外の寸法は別にオーダーメイドで承る形としました。</p>

仕様決定した「折りたたみ式ゴミかご」



- 「製品紹介チラシ」の作成と印刷 ※添付資料②  
仕様、サービス、背景や目的を紹介するチラシ (A5 折りパンフレット/両面カラー300部) を作成・印刷しました。  
(製作したチラシは、沼津市役所環境政策課などの窓口で配架いただくほか、関係のある自治会や地域の方々にお渡しする予定)

事業効果

※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を、具体的な数値を用いて記載してください。

- 障害理解  
連合自治会の会合にお邪魔して、障害者のはたらく環境をより良くするために取り組んでいることやゴミかごの試作品の紹介をしました。また試用の際の設置作業は地域の方々と一緒に行いました。障害を抱える人が生み出す製品に触れることや働く姿を見ていただくことは、地域の方々に身近に感じてもらえる機会となり、自分たちには何ができるのかを考えていただけました。設置作業の様子は新聞報道もされ、ご覧いただいた自治会も多くありました。

	<p>●社会参画</p> <p>障害を抱えていても素晴らしい能力を発揮したり、作業に集中して取り組めることなど、十分に働き手としての力があることを知ってもらうことで、障害者が社会に参加する機会が増えます。今回試作したゴミかごは特別支援学校で学ぶ技術を生かせるような材料・加工方法の選定をしました。働き手としての力や将来の可能性を示すことができたのではないかと思います。</p> <p>●働く場の創出</p> <p>障害者の特性や能力を活かした作業が増え、将来の「しごと」につながります。今年度の試作の成果を活かし、新年度からは製品版を販売していく予定です。この事業を軌道に乗せることで、新たな働く場を創出していきます。</p> <p>[成果指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試作版の製作と自治会による試用 (計画) 10 個製作、10 自治会で試用 (実績) 10 個製作、9 自治会で試用 試用を辞退されたゴミかごを使い、新年度からの製品化に向けた検証作業を行いました。</li> <li>・製品版の仕様決定と販売に向けた製品紹介 (計画) 200 自治会 (実績) 沼津市役所環境政策課などの窓口での配架する形としました。</li> </ul>
自己評価	<p>※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。</p> <p><b>公益性・必要性</b></p> <p>本事業の「折り畳み式ゴミかご」は、地域の皆さまが日常的に使用し、目に触れるものです。今年度の試作の取り組みを通じて、障害者との接点がなかった地域の方々との関わりが生まれ、障害理解が深まり、障害を身近に感じていただけたものと思います。</p> <p>障害を抱える人たちが個々の特性に応じた形で地域社会に役立つ仕事をしつつ、地域の方々の障害に対する理解が広がっていくことを目指す本事業は、改めて公益性があり公的資金を用いて実施する必要性のある事業であったと考えています。おかげさまで、この春からの事業化の目途も立ちました。まだ大量生産できる体制は整っていませんが、じっくりと前に進めていきます。全国的な課題でもある、障害を抱える人たちの役割づくり・仕事づくりや地域社会の障害理解に繋がることを目指して活動していきます。</p> <p><b>地域性</b></p> <p>私たちは、個々の特性や能力を活かした地域社会の役に立つ仕事と巡り合えず、埋もれてしまう働き手を地域資源の一つと考えています。地域に必要とされ、役割とやりがいのある、個々の特性に合った活躍の場が必要であり、ゴミかご事業を軌道に乗せながら、新たな仕事＝活躍の場を見つけていくことで、地域資源を活かしていきたいと考えています。</p> <p>学ぶ環境が分かれ、幼い頃に共に育つ機会が少ない事もあってか、地域の方々にとっては障害者との関わりが少ないことや知識不足からマイナスイメージがあるかと思えます。しかし、自治会の皆さまとお話しさせていただく中で、特別支援学校や支援学級の話になったり、「自閉症の子の作品を見たことがあるよ」などのお声をいただいたりと、地域の方との関係性を築く機会をいただきました。障害者の法定雇用率の引き上げもあり、企業側の意識も高まっている中、本事業を</p>

通して、障害理解や地域・企業との連携を深め、障害者雇用の一助となれるように進めていきます。

### 先導性

ゴミかごは、枠、枠に張り付けるネット、ゴミかご正面に取り付ける銘板などの部材により構成され、それらを組み合わせて製品となりますが、障害を抱えていても作業が行える・しやすいように材料の選定や作業工程の工夫をしました。また、働く姿を見てもらえるよう、現地でのメンテナンス作業もサービスに含める予定です。こうした工夫は先導性があるものと考えています。

当初考えていた金属の枠は、曲げやカット作業などの難易度が高く外注に頼らなければならないことなどから取りやめ、加工の難易度が低い塩ビ管で枠をつくる方向に軌道修正しました。塩ビ管であれば、必要な長さに簡単にカットでき、また接着も容易で、強度も申し分ありません。近い将来、外注に頼らない体制をつくっていきたいと考えています。

ネットは枠に合うサイズにカットした上で補修糸を使って張り付けますが、障害を抱えていても正確で効率的な作業が行える作業手順の検討などを行いました。自治会名などの情報を記す銘板には、障害を抱える子どもたちによる作品を印字しました。温かみのある作品が、地域の方々の心の癒しになればと思います。商品の付加価値として、販売して1年後と2年後に現地でのメンテナンス作業（補修や清掃）を行い、地域の方々に働く姿を見ていただく予定です。また、メンテナンスに合わせて異なるイラストを用いた銘板への交換も実施します。

### 発展性・継続性

沼津市の報告によれば、2020年度における自治会への補助実績は、新規設置:203件、修繕:2件でした。ごみ集積施設の整備に対するニーズはこの先も続き、年間100~200個程度の需要があるものと想定しています。その内の20個程度を仕事として取り込み、本ファンドの助成終了後も採算の取れる事業として成立させていきます。

事業の推進に合わせて、作り手を増やしていきます。まずは母たち主体で製作する形から始めます。その後、母子での製作（母が子の指導者・支援者になります）や大人になった子どもたち（ぼくたち）主体での製作をしていきます。この事業で構築した働き手を生み出す枠組みは、私たち母子の世代だけでなく、次世代の母子たちにも引き継いでいきます。

また、次のような事業拡大を検討しています。

- ・自治会より提供を受けたイラスト（地域の子どもの作品など）を銘板に印字するサービスの開始。
- ・設置場所の状況に合わせたオプションゴミかごの製作。  
（塗料などによる塩害対策など）
- ・企業による地域貢献の一環として、折り畳み式ゴミかごを地域の自治会に寄贈する形を企業に打診。（ゴミかご製作は企業から私たちの団体に発注）
- ・障害福祉事業所や特別支援学校との連携。  
（詳細は未定：枠の製作・ネット張り・メンテナンスなどを想定）
- ・販売先を他市・他県へと拡大。

### 実現性・妥当性

私たちの目的は、障害を抱える子どもたちの将来の仕事づくりであり、本事業で実施する内容と合致しています。仕事として行いますので、製品を買っていただけることが前提ですが、前項で挙げたようにその見込みはあると考えています。

現在の母たちだけでは得られない技術は、私たちの活動への賛同をいただいている企業やなどの協力をいただいで確保していきます。

例えば、塩ビ管を使った枠の設計・製造は、外部の方の協力により形にすることができました。また、ネットの補強技術は、その技を持つ方からの指導により身につけることができました。

	<p>本ファンド支援を受けた翌年の2023年度からの事業化の目途は立っています。初年度の販売目標を20個とすると、材料費として60万円程度が必要ですので、その分を自己資金として用意します。私たちの団体の活動に賛同くださっている企業等による協賛金や母たちの貯蓄を充てる予定です。</p>
今後の活動予定	<p>※ ファンドを利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。</p> <p>将来も継続できる仕事とするため、製作時間の短縮と製品の質の向上に取り組みます。作業技術の習得や工程・治具の研究を重ねていきます。また、顧客のニーズに合わせたゴミかごの改良も進めていきます。</p>